主要施策	健康で郷土を愛する人間性豊かな人材の育成
施策の柱	３　義務教育環境の整備
施策の分類	人づくり

■　現状と課題

〇学級編制

少子化のため児童数が大幅に減少しており、平成２４年度から、菖蒲川小学校、梅沢小学校、水元中央小学校の一部の学年が、複式学級になっています。

〇施設の老朽化と耐震化

鶴田小学校（昭和４１）、菖蒲川小学校（昭和５６）、梅沢小学校（昭和３７）、胡桃舘小学校（昭和 54）、富士見小学校（昭和６０）、鶴田中学校（昭和 46）は老朽化が進んでいましたが、耐震診断を行い、補強が必要と判定された校舎・体育館については耐震補強工事を実施して利用しています。

補強が困難と判定された鶴田小学校の校舎については、児童の安全性確保を第一に考え、プレハブによる仮設の校舎を建設し、平成２３年度から利用しています。

〇教材教具・図書等の充実

新学習指導要領（※１）における教育の情報化を踏まえ、児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用できるようにするため、視聴覚機器や教育機器などの教材教具の充実が求められています。

また、町では読書活動の推進を学校教育の重点課題として掲げており、図書室の利用促進を図るためにも、図書の充実や図書を管理するシステムの整備なども今後の検討課題となっています。

※１　新学習指導要領…全国どこの地域で教育を受けても一定水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が学校教育法等に基づき、各教科等の目標や内容などを定めている学習指導要領を平成２０年に改訂したもの。小学校では平成２３年度に全面実施され、中学校では平成２４年度から全面実施されます。

■　目指す姿（基本方針）

〇　児童数の推移等を見ながら、適正な学区編成の検討を目指します。

〇　年次計画に基づく学校施設等の整備や新学習指導要領に対応した教材教具の充実など義務教育環境の整ったまちを目指します。

〇　図書室の充実など、読書活動を推進するまちを目指します。

■　施策の内容

○　児童数の減少、地理的条件、歴史的背景、避難所としての役割を考慮しながら、地元の同意を得て学区再編成を検討します。

○　大規模な修繕が必要な学校は計画的に修繕し、教育環境の整備に努めます。

○　教材教具の整備は計画的に行い、順次更新しながら充実を図ります。

○　図書の充実や関連設備の整備に努め、読書活動の推進を積極的に行います。

担当：教育委員会

４５年の歴史に幕を閉じた鶴田小学校の旧校舎前にて、全校児童と教職員の皆さん